

BRAIN and NERVE 2026 年 6 月号

特集

難病医療ハンドブック

わが国の難病対策と課題

小森哲夫

神経難病と社会保障制度

伊藤道哉

神経難病に対する治療の発展と社会的・倫理的問題

漆谷 真

神経難病における臨床倫理的問題の特徴と協働意思決定

杉浦 真

難病における新たな遺伝医療の現状と課題——PGT-Mを中心に

佐々木愛子

難病における遺伝カウンセリングと多職種連携

関屋智子

難病リハビリテーションの最前線

中馬孝容

神経難病における呼吸リハビリテーション

寄本恵輔

神経難病における摂食嚥下・栄養障害の対応

國枝顕二郎

神経難病とコミュニケーション支援

井村 保

難病とともに生きる人の治療と仕事・学びを両立するための支援

中井三智子

難病診療連携コーディネーターの役割

岩木三保

コラム 患者会の役割

伊藤たてお

大学病院・難病診療連携拠点病院の病診多職種連携

太田康之

小児期発症慢性疾患患者の成人移行支援——難病医療のなかで

望月葉子, 大迫美穂

神経難病の災害対策

宮地隆史

神経難病診療における遠隔医療とデジタル技術の利活用

大山彦光

剖検の現状と課題

高尾昌樹

連載

脳の「部分と全体」

第1回 脳幹の構成—連続性と特異性

小林 靖, 本郷 悠